

第 25 回日本脳神経血管内治療学会総会
特別企画「tPA の今」準備委員会
吉村紳一、坂井信幸、桑山直也

先生にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます

第 25 回日本脳神経血管内治療学会総会が 11 月 19-21 日に開催されますが、特別企画として「tPA の今」と題したセッションを企画しました。急性脳動脈閉塞に対する再開通療法として tPA 静注療法が 2005 年 10 月に承認され 3 年半を経過しました。脳主幹動脈閉塞では tPA 静注療法の非適応や無効例にしばしば遭遇します。これに対して、血管内治療に期待がかかるのですが、局所線溶療法や血管形成術、吸引などをさまざまな工夫の下に行っているのが現状だと思います。血栓回収(Merci)および吸引(Penumbra)を目的とした医療機器の薬事承認が間近という期待もあり、血管内治療が大きく変わる可能性もあります。急性脳血管閉塞患者さんへの貢献と内科・外科治療との協力が必要な領域であり、まさに 2009 年のテーマである「脳血管内治療の責任と協調」にふさわしい企画だと思っています。

そこでご多忙のところまことに恐縮ですが、下記の調査にご協力をお願いしたく案内する次第です。集計作業が必要なので締め切りを 10 月末とさせていただきます。何卒宜しくご協力賜りますようお願い申し上げます。なお、施設内倫理委員会の承認が必要な場合は、ご面倒ですが個々にご対応をお願い申し上げます。ちなみに、臨床研究に関する倫理指針では、すでに治療も観察も終わっている研究では、院内公告（ポスター掲示やホームページ掲載）があれば、対象者の同意文書は不要となっています。何卒宜しくご協力賜りますようお願い申し上げます。

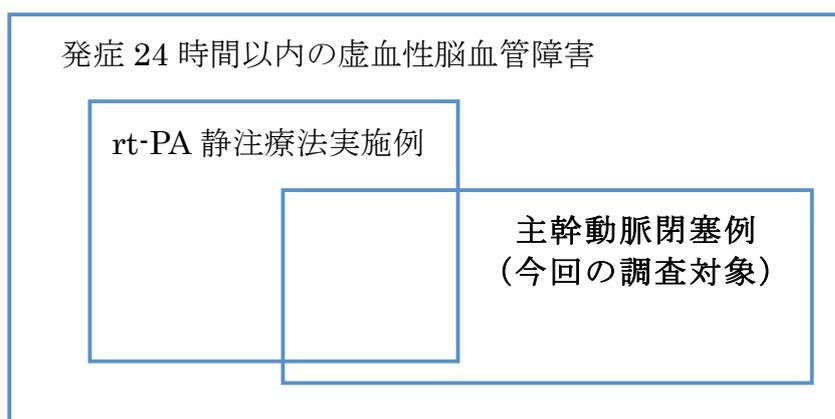
調査対象

- 1 2008 年 1～12 月に入院
- 2 入院時間：発症後 24 時間以内（不明は除く）
- 3 責任閉塞血管が以下のもの：頸部総頸動脈(cCCA)、頸部内頸動脈(cICA)、頭蓋内内頸動脈(iICA)、中大脳動脈(M1/M2)、前大脳動脈(A1)、頸部椎骨動脈(cVA)、頭蓋内椎骨動脈(iVA)、脳底動脈(BA)、後大脳動脈(P1)

註1 閉塞血管の診断は、血管造影、MRA、CTA、USなどいずれの方法も問いません

註2 入院（来院）時に行った一連の検査により閉塞血管を診断したものを対象とし、夜間に入院し翌朝に診断されたものなどは対象外といたします

註3 重複を避けるため、施設内で代表者による登録をお願いします（分担も可能です）



調査A

日本脳神経血管内治療学会専門医数、うち指導医数

急性脳血管閉塞の内科治療を担当する診療科：脳神経外科、神経内科、一般内科、救急科、他（複数回答可）

血管内治療を担当する診療科：脳神経外科、神経内科、一般内科、救急科、他（複数回答可）

発症24時間以内に入院した全体の虚血性脳卒中症例数

rt-PA静注療法実施数（閉塞血管不明例も含む）

調査対象数（対象主幹動脈閉塞例）

調査B（調査対象、別添エクセルで報告、*は必須項目）

No	必須	施設内識別番号（任意）	例	
入院日	*		081205	
退院日	*		081228	
年齢*	*	歳	70	
性別*	*	M/F	M	
病型		心原性塞栓/ATBI/ラクナ（今回の対象外）/その他/不明	心原性塞栓	
入院時間*	*	時間(h)分(m)単位 発症時刻が不明でも最終確認時刻から 24 時間以内は対象とします 明確な時間がわからない場合の「##~##h」、24 時間以内は确实だが不明の場合は「不明」もあり得ます	3h20m	
閉塞血管*	*	頸部総頸動脈(cCCA)、頸部内頸動脈(cICA)、頭蓋内内頸動脈(iICA)、中大脳動脈(M1/M2)、前大脳動脈(A1)、頸部椎骨動脈(cVA)、頭蓋内椎骨動脈(iVA)、脳底動脈(BA)、後大脳動脈(P1)	iICA	
入院 時 画 像 診 断	CT	*	あり、なし	あり
	MRI/DWI	*	あり、なし	あり
	MRI/PWI または CBF 評価		あり、なし 註：CBF 評価 = dynamic CT, SPECT など	なし
治療前 NIHSS*	*	0-40	12	
治療開始後 36 時間以内の症候性脳出血の有無		あり、なし 症候性の定義：NIHSS 1 点以上の悪化または臨床明らかな症状増悪	なし	
転帰(90日)*	*	0-6・不明、不明の場合は退院時 mRS を記載	2	
転帰(退院時)		0-6	2	
実施医療		tPA 静注療法/他の内科治療/血管内治療/tPA 静注療法+血管内治療/外科治療/その他	血管内	
血管内治療の内容(実施時)		ia-UK/ia-tPA/PTA/Stent/吸引/血栓除去/組み合わせ()/その他	組み合わせ (ia-UK + PTA)	
ia-UK/ia-tPAの投与量(実施時)		単位	12万単位	
IVR 施行時の結果		完全開通/部分開通/無効	部分開通	
血管内治療後の症状の変化		改善、不変、悪化、不明	改善	
血管内治療の合併症		あり、なし	なし	
その予後への影響		あり、なし	なし	